

1 県経済の規模と構造

平成 27 年の総供給（＝総需要）は 12 兆 5,611 億円で、総供給（県内生産額＋移輸入）のうち県内生産額は 9 兆 2,672 億円（73.8%）である。

また、総需要（県内需要＋移輸出）のうち、県内需要は 8 兆 8,894 億円（70.8%）である。

図 1 平成27年産業連関表からみた富山県経済の構造

(単位：億円)

		総需要		125611											
		県内生産額		92672					移輸入 32940						
		県内需要		88894					移輸出 36717						
		中間需要		42295	最終需要					83316					
総供給 125611	県内生産額 92672	中間投入 42295	中間生産物の取引 →産出（販売） ↓ 投入（購入）		県内最終需要					移輸出 36717					
					46599										
					家計外消費支出	1432	民間消費支出	25124	一般政府消費支出		8932	県内総固定資本形成	11178	在庫純増	-67
		粗付加価値							50376						
		間接税－経常補助金		2449											
		移輸入							32940						

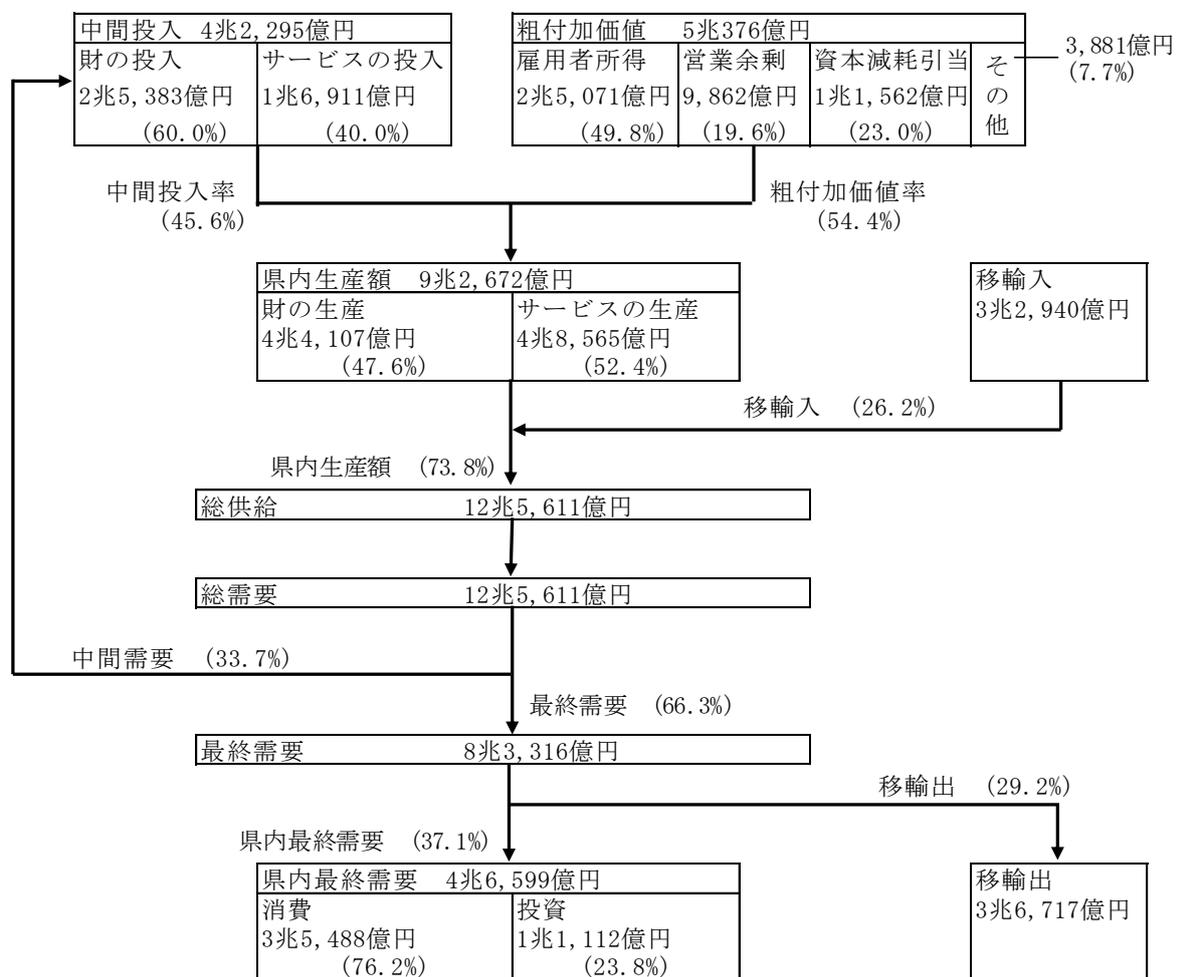
(注) 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。

平成 27 年に県内で生産された財・サービスの総額（県内生産額）は 9 兆 2,672 億円である。そのうち 4 兆 2,295 億円（45.6%）が原材料等の中間投入であり、残りの 5 兆 376 億円（54.4%）は雇用者所得、営業余剰等の粗付加価値である。

総供給（＝総需要）は 12 兆 5,611 億円であり、総供給と県内生産額との差、つまり県内生産で足りない 3 兆 2,940 億円は移輸入で賄われる。

次に、需要側からみると、総需要のうち 4 兆 2,295 億円（33.7%）が各産業の生産活動に利用される中間需要（中間投入）である。残りの最終需要 8 兆 3,316 億円（66.3%）のうち、4 兆 6,599 億円（55.9%）は県内最終需要であり、消費・投資として県内で消費され、残りの 3 兆 6,717 億円（44.1%）は移輸出に向けられる。

図 2 平成27年産業連関表からみた財・サービスの流れ



- (注) 1 この図において、「財」は、統合大分類の産業別コード01～41及び68、「サービス」は同じく46～67及び69の合計である。
 2 この図において、消費とは、「家計外消費支出」、「民間消費支出」及び「一般政府消費支出」の合計、投資とは「県内総固定資本形成」及び「在庫純増」の合計である。
 3 四捨五入していることから、内訳は必ずしも合計と一致しない。
 4 () は、構成比を示す。